

駿府城 坤櫓の攻略法

大御所家康公の甲冑を身に着け、家康公になりきって見まわせんか。

櫓周辺の発掘調査で見えられた瓦などの実物を展示します。坤櫓の収蔵品を記した資料もあわせて紹介します。

坤櫓復元工事の様子や、駿府と家康公の歴史を映像で紹介いたします。

- 一、入場券を購入し櫓に入館。
- 二、「手解きの間」で櫓を学ぼう。櫓の床下天井を見上げて、力強い構造を見てみよう。
- 三、「記憶の間」で天下人の家康公になりきろう。
- 四、「変幻の間」にて異体験を！
- 五、「見渡しの間」で雄大な富士山を眺め、天下人の気分を味わってみよう。

さらに「時空の間」にて異体験を！

※「今昔スコop」は、限定のチケットです。坤櫓は、期間限定の施設ではありません。入館者が落ち着いたら、是非ゆっくり体験してください。

時空の間

「今昔スコop」駿府時空鏡「定」のそと「こ」と「こ」には不思議な景色が。これは現代なのかそれとも江戸時代なのか、不思議な世界感を体験してみませんか。（別途、体験料が必要です）

記憶の間



変幻の間

見渡しの間

櫓上部に設置してある展望鏡を通して、公園内を見渡してみませんか。雄大な富士山だけでなく、別の風景が広がるかも。

手解きの間

坤櫓内部では、Free Wi-Fiをご利用できます。【DoSPOT-FREE】に接続してご利用ください。静岡の歴史は、<http://city.shizuoka-bunkazai.jp/>でもご覧いただけます。お手持ちのスマートフォンなどでご覧ください。



駿府城公園周辺案内



静岡浅間神社

静岡浅間神社は「神部神社」「浅間神社」「大歳御祖神社」の総称です。静岡浅間神社は、駿河国の総社として歴代幕府の崇拝を受け、竹千代（家康の幼名）が元服を行ったことから特に徳川家は厚く保護しました。現在の社殿は1804年から60年の歳月をかけて再建され、漆塗り極彩色を施しています。社殿26棟の全てが国の重要文化財に指定されています。

静岡由来の碑

明治2年廃藩置県を前にして、地名の改称が藩庁で協議されました。重臣の間では駿機山の青葉ヶ丘にちなみ、賤ヶ丘と決まっていたが、静岡学園所頭取・向山黄村先生が「時世と土地柄」を考えて「静岡」がよいと提案された。たちまち一決したといひます。

静岡県庁別館21階展望ロビー

駿府城公園や富士山・駿河湾・南アルプスが一望できます。夜景もオススメ!!
時間/4~12月(1~3月までは短縮)
平日/8:30~20:00/休日/10:00~20:00
定休日/毎月第3土曜日とその翌日の日曜日
施設料金/無料

弥次喜多像

「東海道中膝栗毛」の作者、十返舎一九は駿府町奉行の息子であったが、家督を継がず、江戸で戯作者となりました。東海道中膝栗毛は、江戸に住む駿府出身の弥次郎兵衛と江戸出身のひょうきん者の喜多八が滑稽な旅を続ける道中話で、当時の人々に爆発的な人気を呼び、長期にわたりベストセラーとなりました。

西郷・山岡会見の碑

慶応4年3月東進中の官軍の大総督参謀・西郷隆盛と幕府の命を受けた山岡鉄舟が会見した場所とされています。この会見によって、江戸城の無血開城がなされ、日本の内乱が避けられた明治維新史上、最も重要な場所です。

徳川慶喜邸跡(浮月楼)

徳川最後の将軍・徳川慶喜公は大政奉還後、駿府に移り住み、ここ代官所跡で約20年間過ごされました。庭園は平安神宮を手がけた京都の庭師・小川治兵衛の作で、現在も当時の趣を残しています。

- 静岡駅より坤櫓へのルート
- 史跡巡りコース
- 駿府浪漫バスルート(平日)
- 駿府浪漫バスルート(休日)
- 旧東海道